

# 参考資料(研修)

# 8月2日までに実施した研修及び受講者数(括弧内は徳島県内からの受講者)

研修名		日程	開催地	受講者数(括弧内は徳島県内からの受講者)
消費者行政職員研修	管理職講座①	5/12-13	相模原	61(0)
	管理職講座②	5/30-31	相模原	39(0)
	管理職講座③	7/19-20	鳴門	48(17)
	職員講座(基礎コース①)	4/26-28	相模原	35(0)
	職員講座(基礎コース②)	5/9-11	鳴門	68(49)
	職員講座(基礎コース③)	6/20-22	相模原	77(0)
	職員講座(基礎コース④)	7/25-27	相模原	75(0)
	職員講座(広報・啓発①)	5/25-26	相模原	20(0)
	職員講座(広報・啓発②)	6/2-3	相模原	45(0)
	職員講座(広報・啓発③)	8/1-2	鳴門	31(19)
	職員講座(相談支援①)	5/26-27	相模原	18(0)
	職員講座(相談支援②)	6/16-17	相模原	43(0)
消費生活相談員研修	専門・事例講座(インターネット・スマートフォンの消費者トラブル①)	6/6-8	鳴門	39(20)
	専門・事例講座(インターネット・スマートフォンの消費者トラブル②)	6/27-29	相模原	55(0)
	専門・事例講座(インターネット・スマートフォンの消費者トラブル③)	7/11-13	相模原	51(0)
消費者教育推進のための研修	消費者教育に携わる講師養成講座(基礎コース①)	5/23-25	相模原	28(0)
	消費者教育に携わる講師養成講座(基礎コース②)	6/8-10	鳴門	17(8)
	消費者教育に携わる講師養成講座(基礎コース③)	6/22-24	相模原	41(0)
	消費者教育に携わる講師養成講座(応用編 高齢者等対象コース①)	7/4-6	鳴門	20(15)
		合計	811名(128名) 内訳	相模原 : 588名(0名) 鳴門 : 223名(128名)

# 受講者分布

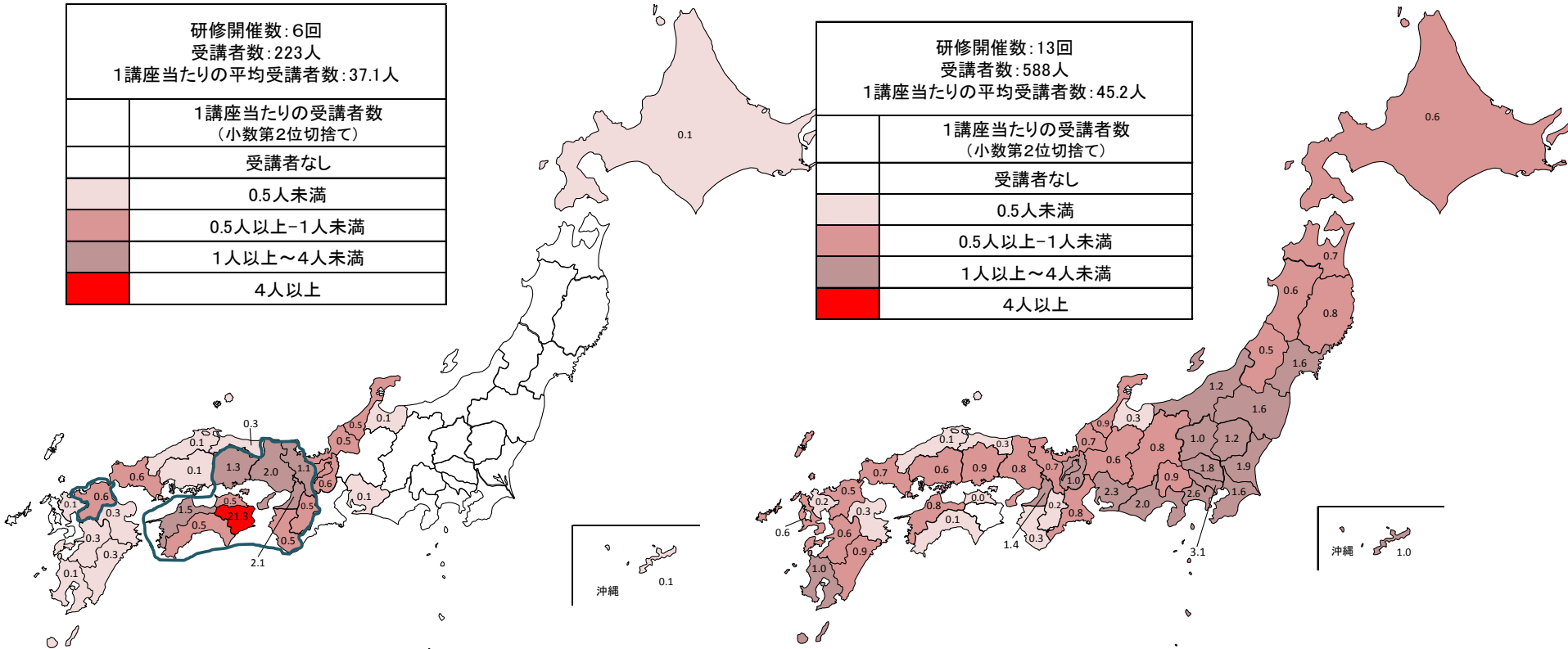
○ 鳴門市での研修受講者は関西、四国・中国が中心(27道府県から参加)

## 受講者分布(鳴門開催分)

研修開催数: 6回 受講者数: 223人 1講座当たりの平均受講者数: 37.1人	
	1講座当たりの受講者数 (小数第2位切捨て)
	受講者なし
	0.5人未満
	0.5人以上-1人未満
	1人以上~4人未満
	4人以上

## 受講者分布(相模原開催分)

研修開催数: 13回 受講者数: 588人 1講座当たりの平均受講者数: 45.2人	
	1講座当たりの受講者数 (小数第2位切捨て)
	受講者なし
	0.5人未満
	0.5人以上-1人未満
	1人以上~4人未満
	4人以上



- ・数字は1講座当たりの受講者数
- ・受講者数: 鳴門223名(徳島県128名 57%、徳島県外95名 43%)、相模原588名(徳島県0名)
- ・青線の囲みは1講座当たりの受講者数が相模原開催よりも多かった地域

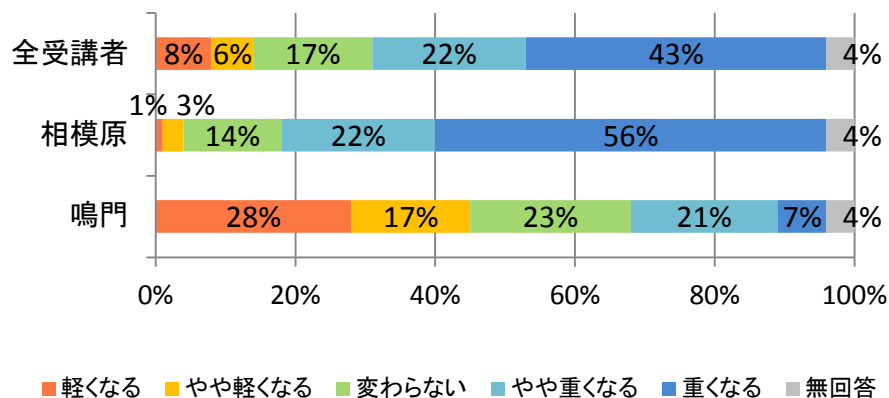
# 受講者の負担等(受講者アンケートより)

※ 研修受講者に対してアンケートを実施(受講者数:811名、アンケート回答者数:750名)

- 相模原市及び鳴門市で実施した研修の受講者は、仮に移転した場合、移転後の負担(費用・体力・時間等)について約3分の2が負担が「重くなる」「やや重くなる」と回答し、移転した場合の研修受講回数について、回答者の約6割が「減少する」「やや減少する」と回答
- 相模原で実施した研修への受講者は、仮に移転した場合、移転後の負担(費用・体力・時間等)について、約8割が「重くなる」「やや重くなる」と回答し、移転した場合の研修受講回数について7割強が「減少する」「やや減少する」と回答
- 鳴門市で実施した研修への受講者(徳島県:57%)は、仮に移転した場合、負担(費用・体力・時間等)について、4割強が「軽くなる」「やや軽くなる」と回答し、移転した場合の研修受講回数について5割強が「増加する」「やや増加する」と回答

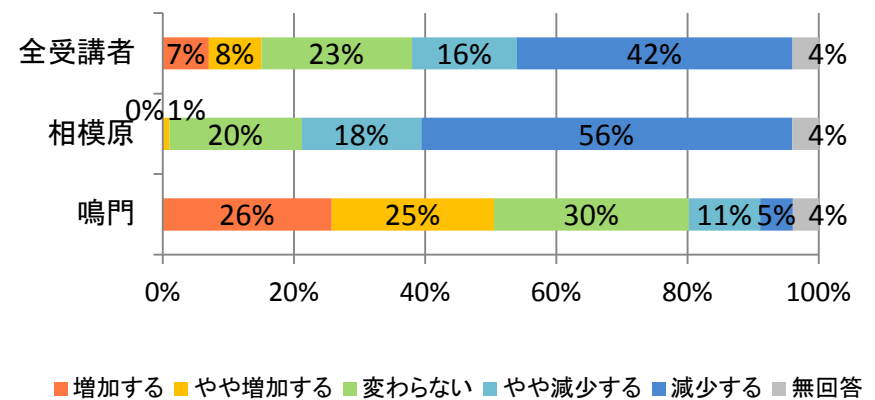
## 移転後の負担(費用・体力・時間等)について

- 相模原受講者の78%が負担が「重くなる」「やや重くなる」と回答
- 鳴門受講者(徳島県57%)の45%が負担が「軽くなる」「やや軽くなる」と回答



## 移転後の研修受講回数について

- 相模原受講者の1%が「増加する」「やや増加する」と回答
- 鳴門受講者(徳島県57%)の51%が「増加する」「やや増加する」と回答



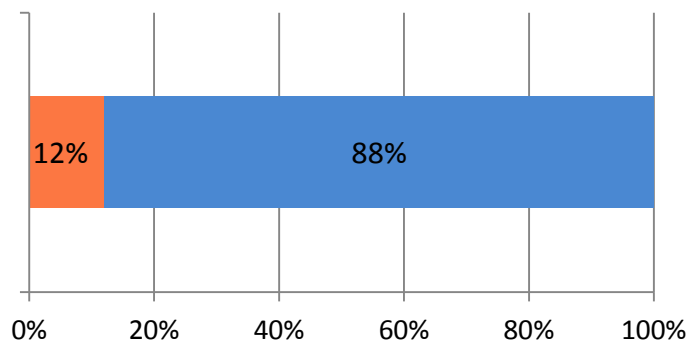
# 派遣元自治体の負担等(消費生活センター等アンケートより)①

※ 地方公共団体の消費者行政担当課及び消費生活センター等(1,308ヶ所)に対してアンケートを実施(回答数1,013)

- 徳島県での実施の研修に関して職員・消費生活相談員の派遣の有無・予定について約9割が「派遣しておらず、派遣の予定もない」と回答
- 「派遣しておらず、派遣の予定もない」の理由としては、「移動の負担が重い」「費用の負担が重い」が多い。

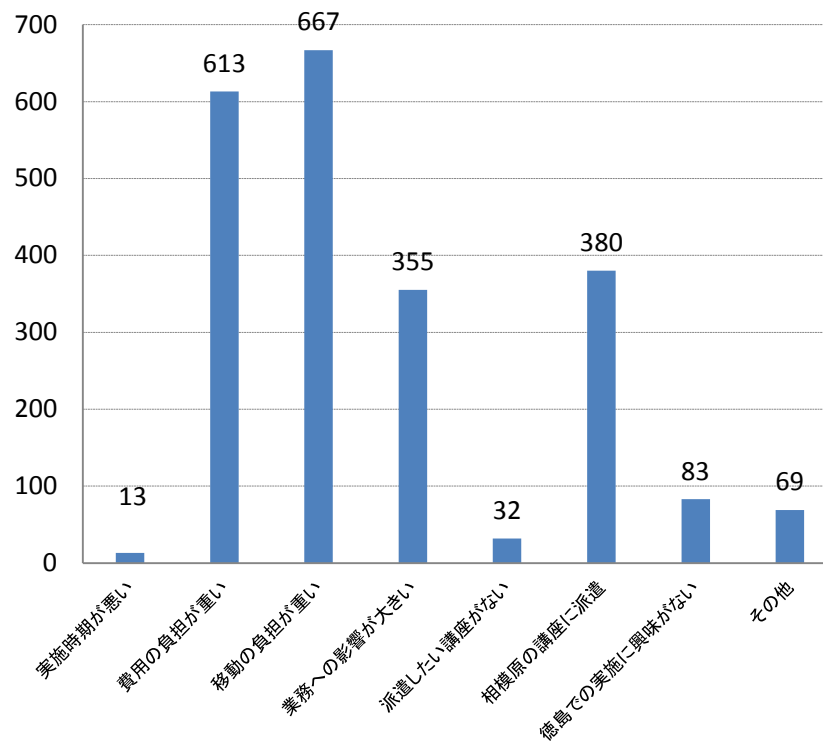
## 職員・消費生活相談員の派遣の有無・予定について

○「派遣した・派遣の予定がある」が121箇所(12%)、「派遣しておらず、派遣の予定もない」が892箇所(88%)



- 派遣した・派遣の予定がある
- 派遣しておらず、派遣の予定もない

## 派遣しておらず、予定もない理由(複数回答)

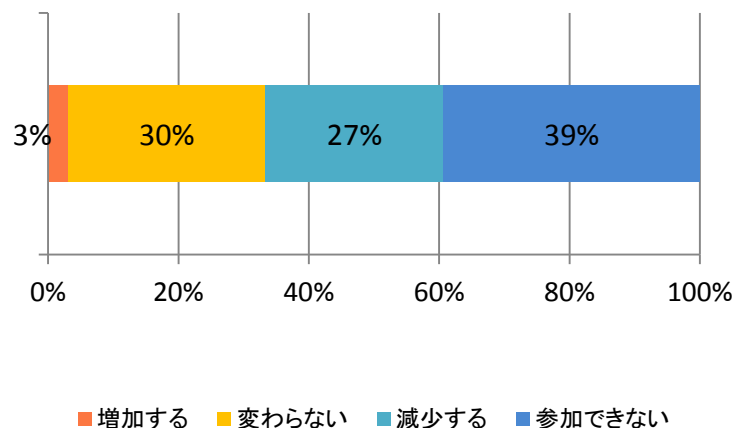


## 派遣元自治体の負担等（消費生活センター等アンケートより）②

- 全国の消費者行政担当課・消費生活センター等を対象としたアンケートでは、仮に国民生活センターが徳島県へ移転した場合の研修参加回数について、約3割が「減少する」、約4割が「参加できない」と回答
- 移転した場合の負担について、4分の3が「重くなる」「やや重くなる」と回答

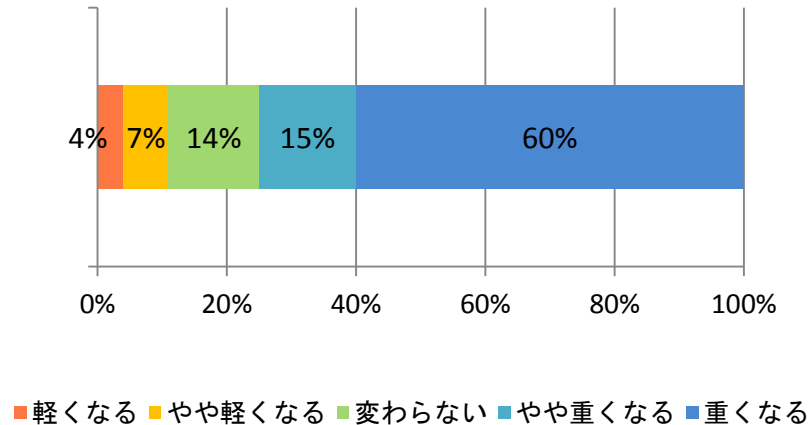
研修への参加回数について

○ 「減少する」は27% (272箇所)、「参加できない」は39% (396箇所)



移転した場合の負担について

○ 「重くなる」「やや重くなる」を合計すると75% (761箇所)

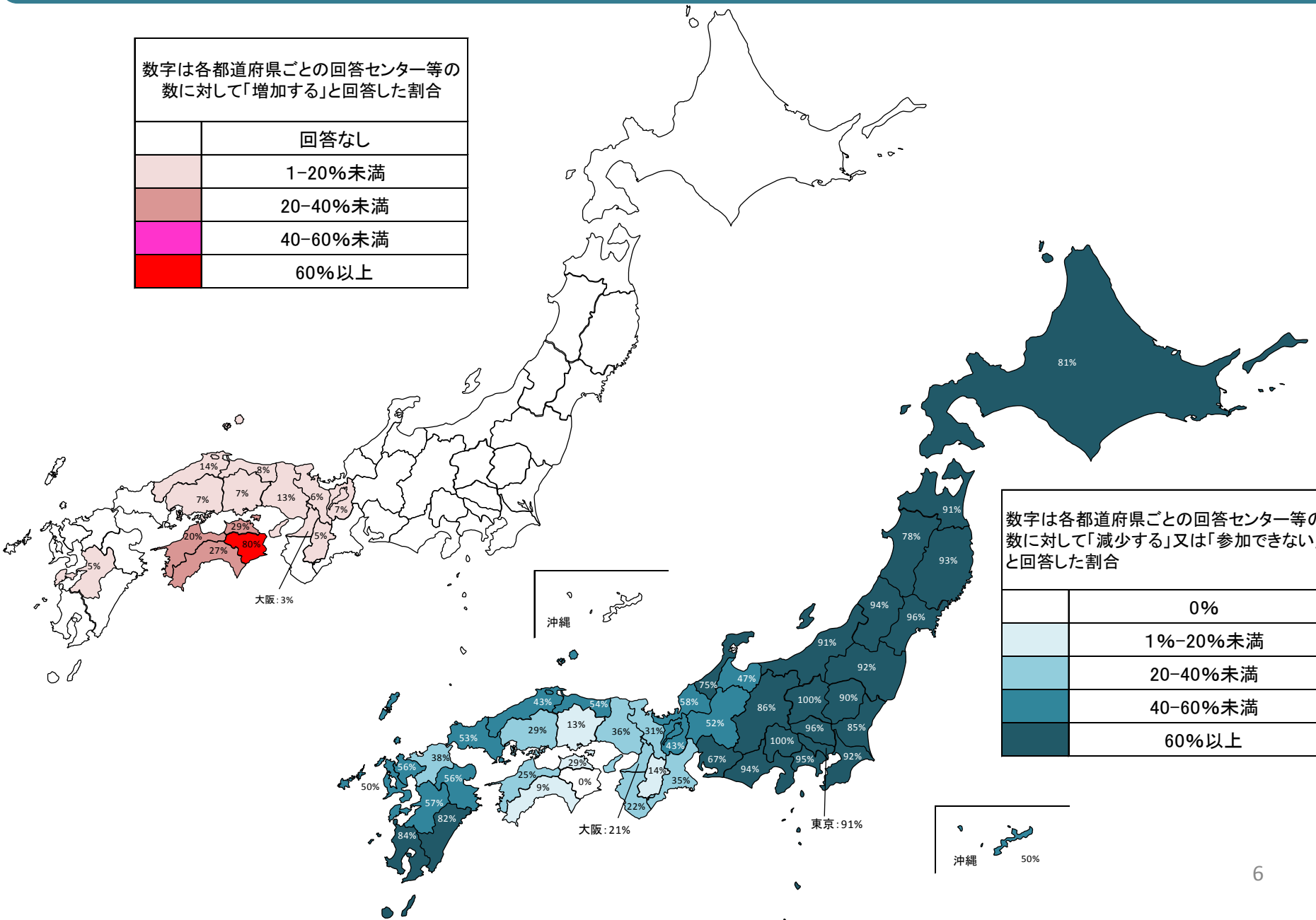


# 派遣元自治体の負担等(消費生活センター等アンケートより)③

## — 研修の参加回数について —

数字は各都道府県ごとの回答センター等の数に対して「増加する」と回答した割合

	回答なし
	1-20%未満
	20-40%未満
	40-60%未満
	60%以上



数字は各都道府県ごとの回答センター等の数に対して「減少する」又は「参加できない」と回答した割合

	0%
	1%-20%未満
	20-40%未満
	40-60%未満
	60%以上

# 鳴門市研修会場までのアクセス等①

- 鳴門市研修会場までへのアクセスについて、空港や駅、バス停からの公共交通機関の本数の少なさや乗換えに課題が見られた。

## 徳島県鳴門市まで(県外空港利用の場合) 各空港HPより

- 神戸空港より
  - ・ リムジンバス 2時間～2時間半 → 高速鳴門バス停下車
- 高松空港より
  - ・ バス 約40分 → JR (高松～徳島) 約60分 → JR (徳島～鳴門) 約40分
  - ・ 自家用車 (空港～鳴門IC) 約70分

## 鳴門合同庁舎まで 徳島県等調べ

- 高速鳴門バス停より
  - ・ 路線バス 約5分 (片道110円) → 市役所前 徒歩約10分  
※バスの発着は1時間に2～3本程度 (6時台～21時台)
  - ・ 市内循環バス 約21分 (100円) → 市役所前 徒歩約10分  
※バスの発着は1時間に2本程度 (9時台～16時台)
  - ・ タクシー 約7分 (1,000円程度)
- JR鳴門駅より
  - ・ 徒歩 約15分
  - ・ タクシー 約4分
- 徳島阿波おどり空港より
  - ・ 路線バス 約13分 (片道270円) → 市役所前 徒歩約10分  
※バスの発着は1時間に1本程度 (9時台～15時台)
  - ・ タクシー 約20分 (2,300円程度)





## 鳴門市研修会場までのアクセス等②

○ 鳴門市において、宿泊施設が確保しにくい時期があった。

- 女子プロゴルフ大会開催(5/27～29)前後※
- オーシャンカップ(ボートレース)開催(7/13～18)前後
- 夏休み(特に阿波踊り開催(8/12～15)前後)

※当初は、5/26-27に行政職員対象の講座(相談支援)を鳴門市において試行予定であったが、3月上旬に徳島県より、当該大会開催を理由に研修時期の変更を要請された。

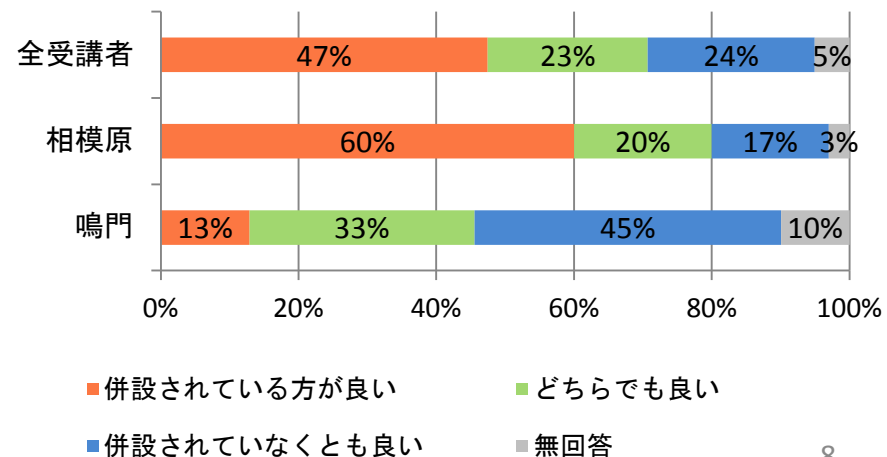
○ 受講者アンケートでは相模原受講者の6割、鳴門受講者(徳島県:57%)の1割強が宿泊施設の併設を望んでいる。

### 合同庁舎から1km圏内のホテルの宿泊室数等

名称	客室	定員	合同庁舎からの距離
ビジネスホテル鳴門	53	67	1.0km
ホテル・ファーストシーズン	40	50	1.0km
ホテルアド・イン鳴門	52	63	0.85km

### 宿泊施設の併設について

- 相模原受講者の60%が宿泊施設の併設を望んでいる
- 鳴門受講者(徳島県:57%)の13%が宿泊施設の併設を望んでいる



## 前泊の有無等

- 前泊をしたのは18名、後泊は5名。
- 飛行機を利用したのは3名。
- 所属自治体の旅費規程上、徳島県への出張は飛行機が使えず鉄路の利用となる受講者もいた。
- 所属自治体の旅費規程上、飛行機の利用は可能だが、研修の開始時間に間に合わない可能性があるため利用しなかったという受講者もいた。
- 公用車・自家用車の利用は15名。

## 受講者の感想等

- 高速バスは往復で7,000円程度と経済的で、距離も意外と近く便利。【関西】
- 高速鳴門バス停で路線バスに乗るため30分待った。【関西】
- 相模原での研修は家庭があるため参加できなかったが、車での移動ができる徳島県での研修受講は負担が少なかった。【関西】
- 相模原研修施設へ行くよりも距離は近く費用も安いですが、かかる時間は東京方面に行くのと変わらない。【中国】
- 高速バスの利用も考えたが、天候や事故など道路事情で遅れることがあるため、鉄路を利用した。【四国】
- 公共交通機関(JR等)の利用を検討したが、徳島から鳴門までが不便であり、研修の開講時間に間に合わないため公用車を使用した。【四国】
- JRのほか高速バスという選択肢もあるが、いずれも徳島～鳴門間が不便。JRの場合往路はスムーズだったが、復路は待ち時間が多く時間がかかった。【四国】
- 6時間以上の旅程、3回以上の乗換えはきつい。【九州】
- 乗換えが多く不便。【九州】

(※) 関西: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

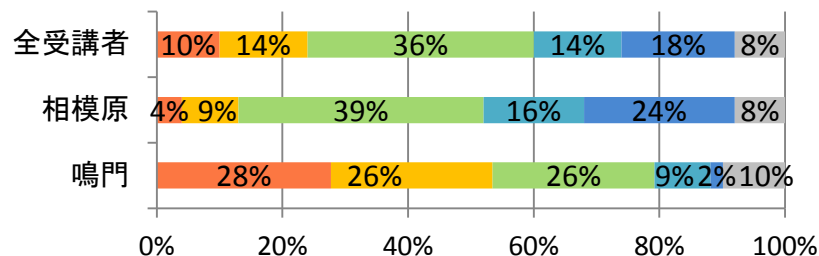
# 徳島県における研修の運営

- 徳島県内からの専門家（講師）の確保が難しいこともあった。
- 受講者の地域的偏りがあり全国の消費生活相談員等と交流が図れない、キャリアがある相談員と情報交換できなかったとの声もあった。
- 徳島県から「徳島県の特徴を活かしたフィールドワーク」について、具体的な提案が5月下旬までなかったため、これまでの試行期間中には実施できなかった。
- 鳴門市研修会場の整備、運営について、徳島県から協力が得られた。
- なお、受講者アンケート・消費生活センター等アンケートにおける徳島県の特徴を活かした研修への期待について聞いたところ、次のような結果となっている。
  - 受講者アンケートにおいて、相模原受講者の約1割強、鳴門受講者（徳島県：57%）の約5割強が「期待する」「やや期待する」と回答
  - 消費生活センター等アンケートにおいて、1割強が「期待する」「やや期待する」と回答

受講者アンケート

## 徳島県の特徴を活かした研修講座について

- 相模原受講者の「期待する」「やや期待する」を合計すると13%
- 鳴門受講者（徳島県：57%）の「期待する」「やや期待する」を合計すると54%



消費生活センター等アンケート

## 徳島県の特徴を活かした研修講座について

- 「期待する」「やや期待する」を合計すると12%

